

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
N203	原価計算	2年	講義	2	杉本育夫
<b>授業概要</b> 製造業では製品の製造や販売, 原価管理, 利益計画等に用いられる工業簿記・原価計算の知識や技術が必要とされます。この講義では工業簿記と原価計算の基本から, より高度な原価計算の知識と技術を理解することを目標にします。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 企業経営および会計指導者向けの工業簿記と管理会計の知識と技術を習得する。 個別原価計算と総合原価計算の仕組みを理解し、原価計算表の作成ができる知識と技術を習得します。 社会的にその実力を認定される日本商工会議所主催の簿記能力検定試験の 2 級以上の資格取得ができる能力を身につけます。(DP2)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	原価計算の基礎	原価と原価計算, 原価計算の目的, 原価計算の手続き			
2	工業簿記の記帳体系	工業簿記の特色と基本的なしくみ			
3	原価の費目別計算	材料費, 労務費, 経費の計算と記帳			
4	製造間接費会計	製造間接費の定義と分類, 製造間接費の製品への配賦			
5	原価の部門別計算	部門別計算の目的と製造部門費予定配賦表の作成			
6	個別原価計算	単純個別原価計算と部門別個別原価計算			
7	工企業の財務諸表	損益計算書と製造原価報告書			
8	工場会計の独立	工場勘定と本社勘定			
9	総合原価計算(1)	単純総合原価計算と月末仕掛品の計算,			
10	総合原価計算(2)	工程別, 組別, 等級別総合原価計算と減損処理			
11	標準原価計算(1)	原価標準の設定と勘定記入			
12	標準原価計算(2)	原価差異の計算と分析			
13	直接原価計算(1)	直接原価計算と固定費調整			
14	直接原価計算(2)	短期利益計画と CVP 分析			
15	まとめ				

準備学修(授業外の自己学修)

学習内容を理解できても、誤りなく正確に迅速に会計処理ができなければ本講義の目標を達成することはできません。授業に出席する前に、必ず自ら問題を解き、理解できた内容と不理解の分野を明らかにしてから受講してください。

成績評価の方法・基準(%表記)

学期末試験 60%， 小テスト 20%， 課題等の提出 20%

観点	S	A	B	C
基礎的な原価計算仕組みを理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
工業簿記の構造を理解し、仕訳をマスターしている	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
各種の原価計算を理解し、原価計算表の作成をマスターしている	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。

教科書

『最新段階式 日商簿記検定問題集 2 級 工業簿記』実教出版

参考書等

なし

履修上の注意・学修支援

本講義を履修する場合は、『簿記論 I・II』を履修しておく必要があります。

この授業は自主的な学習を基本にします。テキストを何度も読み込んで問題を解くなど、必ず予習をしてください。もし自主学習を進められない分野・内容がある場合は事前に必ず相談してください。毎日1時間以上の自主学習を必ず定着させてください。